

議会報告拡大版

熊谷市議会議員

所属

- ・総務文教常任委員会（副委員長）
- ・議会改革特別委員会
- ・人権教育推進協議会

こしづか なほこ

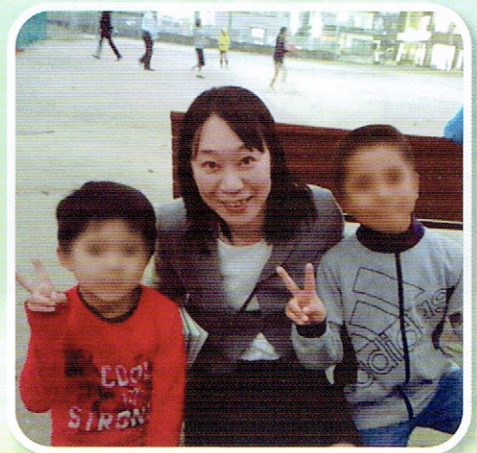
立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

「あなた」の声を市政に！

ご挨拶

新年度が始まりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、本年1月に立憲民主党へ入りました。信念を持って活動して参ります。日々、多くの方々に心を寄せ頂き、議員活動に励むことができております。心より感謝を申し上げます。引き続き、市民福祉の向上を目指し、働く者・生活者の視点で「小さな声」を市政に反映して参ります。ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

2018年春 腰塚菜穂子



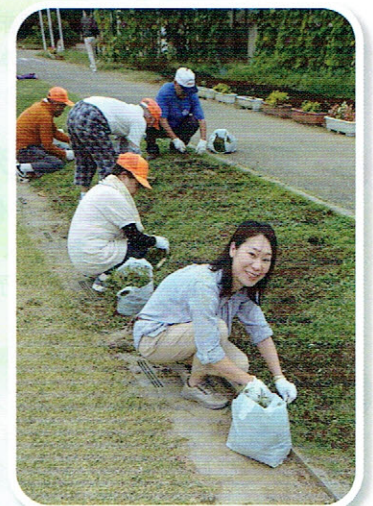
民間学童の視察



早朝の駅立ち活動



議会で質問に立つ



地域の皆さんと除草作業



研修にて地方議員の仲間と



熊谷駅での街頭演説

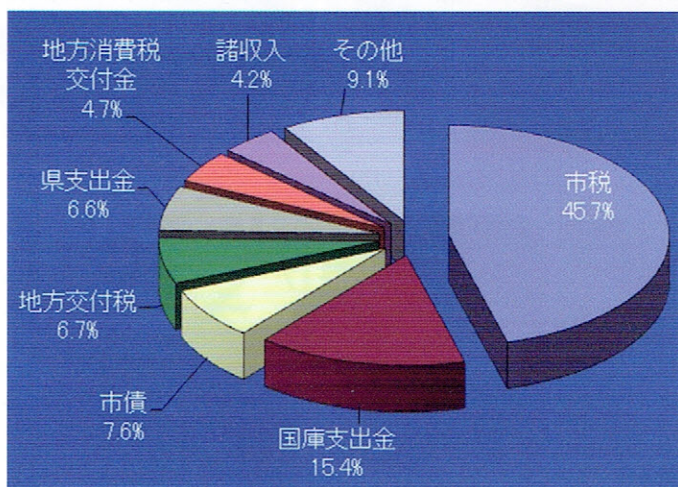
平成30年度予算総額1,004億500万円を可決!

1. 総括

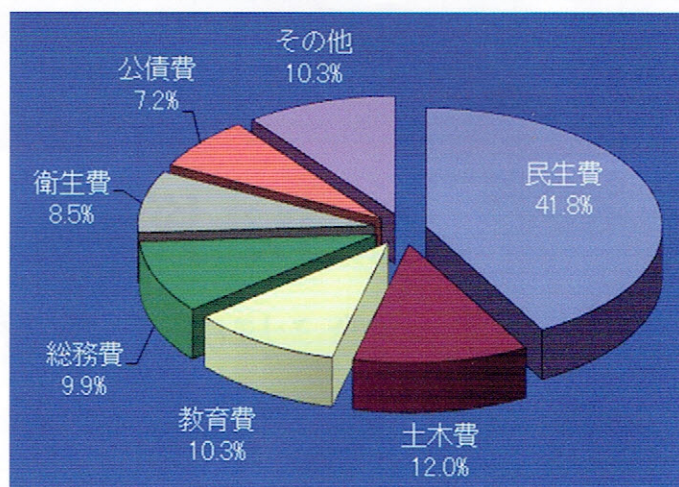
会計区分	平成30年度 (千円)	平成29年度 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
一般会計	64,300,000	64,300,000	0	0.00
特別会計	28,630,000	33,900,000	△5,270,000	△15.55
水道事業	7,475,000	6,640,000	835,000	12.58
総計	100,405,000	104,840,000	△4,435,000	△4.23

【予算概要】一般会計の予算規模は、平成29年度当初予算額と同額の643億円。ラグビーワールドカップ2019の関連事業に予算を重点配分したほか、出産・子育て支援及び転入・定住促進、雇用促進における事業を引き続き実施する。また、平成30年度から小中学校の校舎の大規模改修やトイレの洋式化に本格的に取り組む。市民生活に直結する防災・安全対策、生活道路や排水路整備等の事業へも積極的な予算配分を行ったところ。

2. 一般会計(歳入)



3. 一般会計(歳出)



主要事業

事業説明のあとの()は事業費 [単位:千円]

ラグビーワールドカップ推進事業

「2020オリンピックパラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会」に対し、県営熊谷ラグビー場の仮設スタンド設置のための経費も含め負担するほか、ラグビーワールドカップ2019運営基金への積立て、テストイベントの実施、また、埼玉県に対し県営熊谷ラグビー場の大型映像装置の設置費用の一部を支出するなど、大会に向けた準備を進める。(849,181)

新 熊谷駅正面口駅前広場改修事業

本市の玄関口にふさわしい駅前広場の環境を整備するため、平成29年度から平成31年度までの期間に、広場全体の舗装の打替と、広場及び県道熊谷停車場線歩道にシェルター及び冷却ミストを設置する。(平成30年度分:335,577)

新 夏休み児童クラブ拡充事業

長期休業期間である夏休みの保育ニーズに応えるため、利用ニーズの高い小学校において、期間を限定し児童クラブを開設する。東小学校・南小学校を予定。(3,675)

企業誘致推進事業

産業の振興及び就労機会の拡大並びに自主財源の確保を図るため、市外企業の誘致や既存企業の事業拡大の支援として奨励金の交付等を行う。(232,861)

総合交通体系整備促進事業

市内循環バス「ゆうゆうバス」の利便性の向上を図るため、既存バスルートを見直し、妻沼地内を循環し籠原駅を往復する「グライダーワゴン」を新設し、増便及び運行時間の短縮を図る。また、「ゆうゆうバス」と国際十王交通(株)が運行する熊谷スポーツ文化公園行きの路線バスに、スマートフォンやパソコンでバスの運行状況が閲覧できるバスロケーションシステムを導入する。(110,882)

英語教育推進事業

英語力日本一を目指すため、全中学生を対象に、タブレット端末を活用した「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能測定ができる英語テスト「GTEC」(ジーテック)を導入する。(120,225のうちGTEC分:21,900)

新 心のバリアフリー講師派遣事業

NPO法人「自立生活センター遊TOピア」との協働により、障害当事者の講師育成を図るとともに、希望する市内小中学校に対し、心のバリアフリーの啓発のための講師を派遣する。(952)

新 高機能消防指令センター総合整備事業

老朽化した消防指令システムの機器更新を行う。併せて、聴覚障がい者がスマートフォン等を使用し、通報がボタン操作により可能となるNET119通報システムの導入や、出勤車両への情報伝達の迅速化を図るため手書きメモでの送受信を可能とするなど機能向上を図る。(256,000)

パブリックコメント制度の検証から考える

市民参加の推進

Q (こしづかなほこ) 市の総合振興計画をはじめとし、個別の行政分野の計画策定等において、熊谷市自治基本条例で謳われている「市民参加と協働」の基本理念を具体化するために、パブリックコメント制度も含めてどのような手法で市民の意見や意向を反映させているのか？

A (企画課) 策定フローにおいて、まずは市民アンケートや関係団体との意見交換等により意見を聞き、庁内の検討委員会で素案を作成する。その後、審議会での審議、市議会全員協議会での説明、パブリックコメント等を経て策定されるのが一般的なケース。例えば総合振興計画では、骨子案の検討の段階で広く市民アンケートを実施したほか、子育て世代、中学生、自治会など対象を絞って個別ニーズの把握を行った。また、市長が継続的に実施しているハートフルミーティングにおいても直接市民の声を聞いている。

Q パブリックコメント制度について、その目的と、その意義はどういったところにあると考えているか？

A 政策形成過程における公正の確保と透明性の向上を図るため、市民からの意見を募集し、意思決定を行う際の参考とするものである。これにより、従来は審議会委員にならないと意見を述べる機会がなかった一般の市民からも意見を頂けるようになった。

Q パブリックコメント制度の現状と課題把握のために、直近3年間の20案件について、その利用状況はどのようになっているか？

A 1案件に対する意見提出者数は、最少0人、最大3人、平均1.1人。20案件に対する計69の意見のうち原案修正したものは、5件、約7%。募集期間は原則1ヵ月としているが、最短が15日間、最長が31日間、平均すると25日間。意見が全く寄せられなかった案件は6案件で全体の約3割。担当課窓口等における市民の閲覧状況は少数にとどまる。

Q パブリックコメント制度の利用状況が低調である現状を受けて、今後、本制度を有効に機能させていくためには、HP・市報以外の周知方法のさらなる工夫改善が必要と考えるが？

A 例えば、メール配信サービス「メルくま」で今後募集予定の案件をお知らせするなど、その方法について検討する。

Q 全ての案件について市報へ募集案内の掲載をすべきではないか？また、わかりやすさを考慮して一覧表形式が望ましいと考えるが？

A できる限り市報へ掲載していく。また、複数の案件がある場合には一覧表とするなど、わかりやすい記載に努めていく。

Q 窓口対応として、要点等をまとめたダイジェスト版をお渡しするなど工夫ができないか？

A 計画案の貸出やダイジェスト版の配布などを検討していく。

Q 意見公募にあたり、計画案等について広く市民の皆様理解を深めて頂くためには、説明会等の機会を設けるべきではないか？

A 開催にあたっての日程や場所の設定、説明会そのものの周知、準備などの一連の事務に見合う効果という点で課題もあると考える。市政宅記講座の関連メニューを通じて説明を行うなど、現行制度の中で工夫していく。



「パブリックコメント制度」とは

正式には「意見公募手続」だが、「パブリックコメント」や「パブリックコメント制度」という表現が広く浸透している。

市の基本的な制度を定める条例や、市の総合的な構想及び計画又は個別の行政分野における基本的な方針及び計画の策定等を対象に、その案を事前に公表し、市民から提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、当該意見に対する市の考え方を公表する一連の手続きを指す。

熊谷市では平成19年9月に制定された「熊谷市自治基本条例」のなかで、意見公募手続、いわゆるパブリックコメント制度に関しても、その実施について規定され、現在「熊谷市意見公募手続に関する要綱」に基づいて実施運用されているところ。



視察・研修・市主催の行事など...

こしづかなほこの

活動報告

議員としての資質向上に
努めて参ります!!



災害時簡易テントの利用体験



利根川の総合水防演習へ



地域行事にてご挨拶



関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式



熊谷うちわ祭



成人式へ来賓参加



第18回消防フェア



姉妹都市インバーカーギル市訪問団との交流



小学校体育館の竣工式へ



政策勉強会へ参加



先進地への行政視察



民間学童の視察



優良農家表彰式へ

プロフィール

- ◆1974年(昭和49年)、サラリーマン家庭に生まれる
- ◆玉井小学校、玉井中学校、県立伊奈学園総合高校卒業
- ◆新聞奨学生として新聞配達をしながら予備校・大学へと進むが諸事情により東京情報大学を中退
- ◆販売職、営業職、事務職など、約20年間民間企業で働く
- ◆家族:夫と夫の両親と暮らす 趣味:古本屋めぐり、映画鑑賞

どんなことでもお気軽にご連絡ください!!

● 連絡先 ● Tel 080-6647-4296

✉ info@k-nahoko.com

〒360-0824 熊谷市見晴町244番地

URL www.k-nahoko.com

